

静岡県西部地域しんきん経済研究所トピックス

平成 26年 1月 9日

「平成 25年 10～12月期中小企業景気動向調査」調査結果報告

－ 3 四半期連続の業況改善 －

静岡県西部地域しんきん経済研究所は、静岡県西部地域の中小企業を対象に行った「中小企業景気動向調査」の調査結果をまとめましたので報告します。詳細は別添「景況レポート」をご参照ください。

1. 調査概要（調査：県西部地域しんきん経済研究所、協力：浜松商工会議所）

調査対象 静岡県西部地域の中小企業 636 社

調査方法 調査表による面接聴取法（遠州信用金庫、浜松信用金庫に委託）

調査時期 平成 25年 12月 1～6日

回収状況 回収数 608 社（回収率 95.6%）

2. 「中小企業景気動向調査」の調査結果

①平成 25年 10～12月期の業況について

静岡県西部地域の中小企業の業況判断指数（DI＝「良い」とみる企業の割合から「悪い」とみる企業の割合を引いた数値）は全産業ベースで－9.7となった。平成 25年 9月の前回調査（－14.0）と比べて 4.3 点改善し、3 四半期連続の業況改善となった。業種別では機械、楽器、繊維、卸売、建設が改善し、建設と不動産の 2 業種でプラス水準となった。なお、建設は平成 19年 3月以来のプラス水準。

②平成 26年 1～3月期の見通しについて

次期 1～3月期では業況 DI は 1.4 点改善し－8.3となる。現状よりも 3ヵ月後を楽観的にみるのは 4 四半期連続となる。

③主な業種別の動向

業種	調査数	業況DI			動向
		前期	当期	来期見込み	
二輪車部品製造	55	-25.5	-27.3	-23.6	業況DIは1.8点のやや悪化。受注残DIは7.3点改善、6四半期ぶりにプラス水準へ。
自動車部品製造	70	-7.1	-7.1	0.0	業況DIは前回と同じ。次期業況DIは7.1点改善の0.0、マイナス解消の見通し。
機械部品製造	65	-9.4	-1.5	1.5	業況DIは7.9点の改善、3四半期連続改善。売上や受注増加のコメントが多くみられる。
楽器部品製造	18	-41.2	-5.6	-22.2	業況DIは35.6点の大幅改善。業況厳しいとのコメントは減少。
繊維製造	25	-20.0	-8.3	-4.2	業況DIは11.7点の改善。売上DIは28.0点改善し2年ぶりにプラス水準へ。
卸売業	87	-22.5	-14.0	-11.6	業況DIは8.5点の改善、4四半期連続改善。販路開拓に向けた前向きな取り組みが一部みられる。
小売業	68	-27.9	-29.9	-25.4	業況DIは2.0点の悪化。売上減少しているとの意見が多いが、一部では売上が伸びているとの意見も。
建設業	71	-2.8	12.7	15.5	業況DIは15.5点改善、平成19年3月以来のプラス水準へ。駆け込み需要に関するコメント多し。
不動産業	36	13.9	8.6	-5.7	業況DIは5.3点悪化もプラス水準は3四半期連続。駆け込み需要を取り込めなかった先も多い。
飲食・宿泊・レジャー等	13	-38.5	-38.5	-46.2	業況DIは前回と変わらず。年末年始シーズンを迎えながらも料金価格DIは悪化。

本件のお問い合わせ先

〒432-8036 浜松市中区東伊場 2-7-1 浜松商工会議所会館 9階 TEL053-452-1510

静岡県西部地域しんきん経済研究所 神谷